

第 8 回九州 MISt 研究会 開催報告

日本 MISt 研究会 会員の皆様

平成 30 年 11 月 3 日(土)にホテルレオパレス博多 3 階イベントホールにおいて、第 8 回九州 MISt 研究会を開催いたしました。

日本側弯症学会と重なったにもかかわらず、多数の先生方のご参加をいただき盛会のもとに終了いたしましたのでご報告いたします。

一般演題は 7 題ご発表いただきました。研究会の開催日が日本側弯症学会と重なったため、当番世話人の私としては皆様にご負担をかけるのもどうかと考え 7 演題での討論とさせていただきます。しかしながら外傷、変性疾患、骨粗鬆症と多岐にわたる分野の発表で討論も活発に行われました。

特別講演 1 では、はちや整形外科病院 院長 蜂谷裕道先生に『 MISt を安全に施行するための留意点 』という演題で講演していただきました。特に LIF を施行する上での安全性に関して丁寧かつ真摯にご説明を頂きました。誠にもってその通りで術前の画像評価、就中、大血管や腸管の症例毎の詳細な検討の重要性を、それらの損傷が患者の生命に直結するが故に再認識させられました。

特別講演 2 では新潟大学医歯学総合病院整形外科講座講師 渡辺慶先生に、「脊柱変形治療の到達点—矯正と低侵襲化のはざまで—」という演題で講演していただきました。成人脊柱変形に対するご自身の豊富な経験と詳細な検討から得られた知見を非常にわかりやすくご教授いただきました。open と mist それぞれの得失が明瞭になったと思います。

Best presenter には、『経過不良因子を有する骨粗鬆症性椎体骨折に対する早期 BKP の有効性』という演題で発表頂いた下関市立市民病院 整形外科 白石さくら 先生が受賞いたしました。早期 BKP の適応に関してよく検討された発表でした。

今回より研究会前に新たにナースコースを設けました。チーム医療という言葉が示す通りに、円滑な手術運びをする上で今回の有菌先生による詳細な講義とハンズオンセミナーは有意義な機会になったと思います。

本研究会を盛会に終えることができたのも、九州 MISt 研究会世話人の先生方をはじめ、サポートいただいた共催の旭化成ファーマ株式会社、協賛の各メーカーの皆様のお力添えのおかげと存じます。ご参加いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

次回の第9回九州 MIST 研究会は平成31年7月6日（土）米盛病院 永吉隆作先生のもと福岡において開催される予定です。

第8回九州 MIST 研究会
当番世話人 勢理客ひさし
(那覇市立病院整形外科)

